

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要しょう乱の概要&gt;

- 9日は、高気圧が日本のはるか東に移動し、前線を伴った低気圧が朝鮮半島付近に進む。
- 10日は、低気圧が発達しながら日本海から北日本に進み、前線が西日本から東日本にのびる。
- 11日は、低気圧がさらに発達しながらオホーツク海に進み、前線が日本の東から日本の南にのびる。
- 12日から13日は、高気圧が北日本から日本の東に移動し、前線が大陸から西日本付近にのびる。

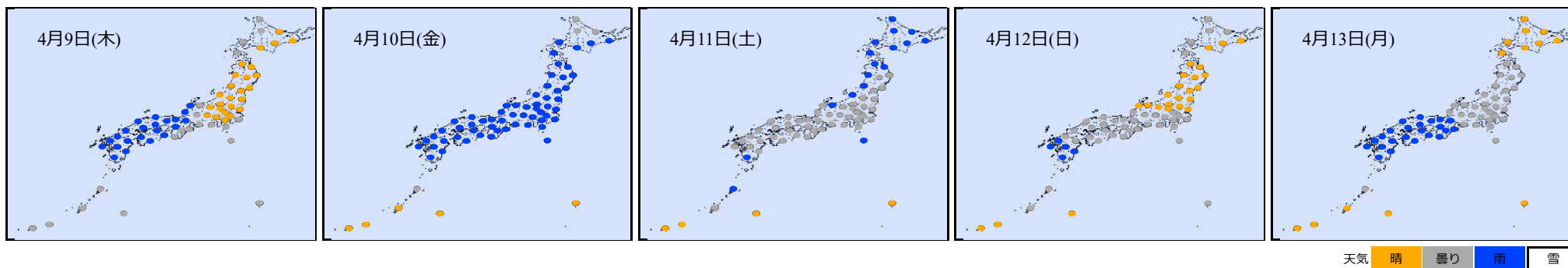
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 9日から10日頃にかけて、低気圧が発達しながら日本海を進むため、北日本から西日本にかけて荒れた天気となる見込み。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

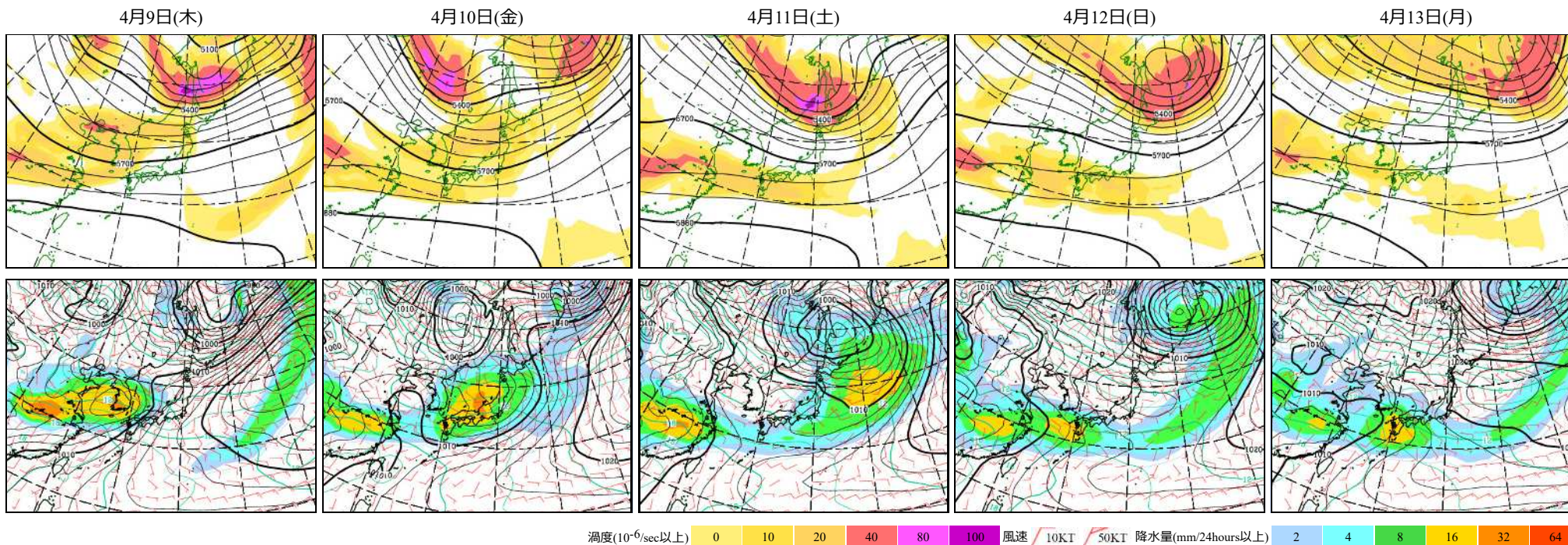
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

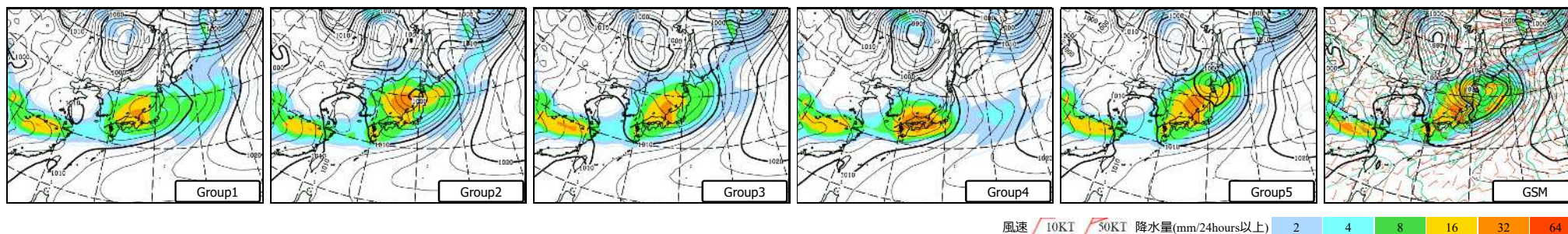


- 北日本は、曇りまたは晴れる日が多いが、10日から11日は雨の降る所がある。
- 東日本は、雲が広がりやすく、10日は広い範囲で雨が降る見込み。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りまたは晴れる日が多いが、11日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月10日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、10日にサハリン付近を進むリッジが強まった。12日から13日は中国東北区から日本海に進むリッジが強まり、日本付近の高度場が高くなった。地上の気圧配置は、11日にオホーツク海に進む低気圧が発達する予想となり、12日から13日に北日本から日本の東に移動する高気圧が強まった。
- 各モデルともに10日に日本海を進むトラフの予想にやや初期値変わりが見られるが、モデル間の差は小さい。地上も日本海を進む低気圧の予想は昨日資料よりモデル間の差は小さくなり、おおむね揃ってきた。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。